

令和6年度の学校評価

本年度の 重点目標	1 規範意識の高揚 生活指導・道徳教育の充実 2 学習習慣の確立 学習指導の充実、授業改善の推進 3 環境の美化 学校環境の充実 4 職員の多忙化解消		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
管 理 職	1 教職員の多忙化解消 2 教職員の勤務時間の減少	1 分掌主任及び学年主任を副担任に配置することにより、各学年の組織力の向上を目指す。 2 普段は19時30分、定時退校日は17時30分の施錠を目指す。	1 学年主任が副担任になったことで各クラスへのサポートが増した。 2 少しずつではあるが、施錠時間をこれまでより早めることができています。
教 務 部	1 基礎学力の定着 2 観点別評価の検証	1 授業研修期間やその他の機会を利用して授業改善を行う。また、成績不振者に対しての指導の充実を図る。 2 指導と評価の一体化のために観点別評価を活用する。	1 追考查指導では、期間を4日間から7日間に増やして指導の充実を図った。 2 評価方法は変更せず、評価の活用方法について教科間で情報を交換しながら審議を続けていくことになった。
総 務 部	1 確実な情報の発信 2 創立50周年記念式典に向けた基盤づくり 3 P T Aや同窓会との綿密な連携	1 在校生保護者に向けた情報伝達を強化する。特に、奨学金関連の連絡を確実に行う。 2 儀式的行事における生徒の自主性を育成する。 3 創立50周年記念式典の準備年度として、P T Aおよび同窓会と綿密に連携を図る。	1 奨学金の案内等をきずなネットで周知したことで、情報伝達が円滑かつ確実に行われた。 2 2学期終業式から生徒による校歌のピアノ伴奏を実施することができた。 3 準備委員会を定期的を実施し、共通理解を図ることができた。
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の確立 2 学校安全の推進（交通事故の減少、情報モラルの向上） 3 生徒指導規定の見直し	1 事前の注意喚起の充実、遅刻に対する情報共有及び早期の対応を行う。 2 交通事故の防止、情報モラルの向上など、わかりやすい啓発方法を工夫する。 3 定期的に生徒会執行部との意見交換を実施することで生徒の意見を取り入れた形で検討する。	1 継続的に早期の対応を実施したことで遅刻数を減少させることができた。 2 道路交通法改定に関する説明動画を紹介するなど、啓発方法の工夫を図ることができた。 3 生徒との意見交換で生徒指導規定の一部改定をした。今後も継続して検討・改定を実施したい。

項目（担当）	重点目標	具体的方策	評価結果と課題
進路指導部	1 進路情報の積極的な発信と進路資料室の利用促進 2 進学希望者に対する受験に対応できる学力の育成 3 就職希望者に対するきめ細かく計画的な指導の継承	1 時期に応じた「進路だより」を発行し、生徒へ情報を提供する。また、進路資料室の書籍の拡充を図り、利用を促す。 2 学年会と連絡を密に行い、補習の受講者の増加に努める。また、外部模試の受験等、進学に向けた準備に取り組む意識を高めさせる。 3 就職担当者の変更に伴う業務の継承を旧担当者与新担当者で連携し、これまでの指導の質を継続、深化させる。	1 継続的に「進路だより」を発行し、生徒に進路情報を伝えることができた。1、2年生の進路資料室の利用も増えている。 2 補習受講者数、模試受験者数ともに昨年度に比べ増加した。進路指導に生かしていきたい。 3 例年に比べ、就職希望者が少なかったが、新担当者のもとで例年どおり指導を行うことができた。
保健部	1 健康課題の早期発見、早期対応 2 生徒主体の美化・保健活動の推進 3 生徒自身の問題解決力の成長を促す相談活動の実施	1 朝のST時、健康観察を確実に実施する。観察結果を学年会等へフィードバックし、職員全体で健康観察を行う。 2 清掃道具を整備し、生徒の清掃に取り組む意識を高める。委員会活動を活性化させ、生徒主体で校内美化を図る取り組みを実施する。 3 各々の相談事案に対して丁寧に情報共有、連携しながら相談活動を行う。また、外部機関との連携、協働を図り、生徒自身で問題を解決できるようサポートする。	1 きずなネットや朝の健康観察ファイル等から速やかに生徒の健康状態を把握し、学年会等で情報共有できた。 2 美化委員会を中心に全校一斉の清掃道具点検・整備を実施できた。 3 相談事案に応じ、適切な支援や外部機関との連携・協働を図ることができた。
生徒会部	1 生徒の主体的な活動による自主的・実践的な態度の育成 2 学校行事や部活動における安全配慮	1 委員会活動、ホームルーム、部活動を通じて生徒が集団や社会に参加できる場を設定する。生徒会執行部が中心となり、委員会が主体的に立案し意見交換するなど考えを深められるようにする。 2 熱中症など、生徒の安全に十分考慮する。生徒と職員で課題を見つけ出し改善して、部活動や学校運営に努める。	1 委員会活動を通じて生徒主体の企画・立案が積極的に行われた。生徒会執行部のリーダーシップが顕著であった。 2 体育大会が冷房完備の外部施設で行うことができ、校内でもWBGT値による部活動での熱中症対策も導入できた。
図書部	1 学習・資料センターとして快適に利用できる環境作り 2 探究的な学びにつながる図書館利用の促進	1 図書選定、広報活動、環境整備を展開し、資料や環境の充実・整備を進める。 2 新入生への図書館オリエンテーションおよび図書委員会を活用した図書館資料の紹介等の活動を行う。また、各学年と連携して総合的な探究の時間等を活用しつつ、より深い学びのための図書館利用を促す。	1 計画的に図書選定をし、生徒が希望する図書についても可能な限り購入できた。蔵書整理のため、図書の廃棄を実施した。 2 『図書だより』発行、文化講演会ポスター作成、ビブリオバトルの実施等の広報活動を図書委員会を通じて行った。探究活動では、より活発な図書館利用を促す働きかけが必要である。
総合評価		創立50周年記念式典にむけた準備とともに、働き方改革、授業改善、生徒の健康管理等進めることできた。	